

背教者と断定される瞬間 ―エホバの証人の場合

S 兄弟、ちょっと確かめたいこと、あるんですけどいいですか？

B ええ 良いですよ 何ですか？

S 預言のことはどうも難しく、ダニエル書の「荒廃をもたらす嫌悪すべき者」って「国際連合」でいいんですよね。

B ええ、そうですよ。

S やっぱり、それでいいんですよね。国際連合って、どうやってできたんですか。

B えーっと、その前は国際連盟で、いっかい いなくなっ てもいっかい第二次世界大戦の後に、作られたのが国連ですね。啓示の書で「かつていたが、今はいない、そして後に現れる」って書いてある通りですね。

S はいはい、でもそれは、緋色の野獣の話ですよね。知りたいのは、国連は誰がどうやって作ったのかってということなんです。

B ああ、そうですか、じゃ、何だったら、ちゃんと調べましょうか。すぐに分かりますよ。ちょっと待って下さい・・・
ああ、有りました、これは「ものみの塔86年の2月1日号の16ページですね。こう書いてあります。読んで見ましょうか。

「第二次世界大戦中、英米世界強国はこの国際組織を生き返らせようと一生懸命に努力しました。1941年に、英国の首相ウィンストン・チャーチルは、大西洋上の一隻の船の上で、米国のフランクリン・ルーズベルト大統領と密談を重ねました。両者は、「世界のより良い将来への自分たちの希望」および「より広い範囲に及ぶ、全般的な安全保障の恒久的な体制の設立」について共同宣言を出しました。」

これによると、イギリスのチャーチルとアメリカのルーズベルトで共同で宣言を出したということです。

この辺は現役の学生なら、たいてい知ってることとでよね。もう少し見てみますか。

えーとこれは国際連盟の方の説明ですが88年6月1日号で、25ページにこうあります。似たような内容ですが、さらにはつきりこう書いてあります。

「第一次世界大戦の4年に及ぶ惨事が終わりに近づいた時、米国の大統領ウッドロー・ウィルソンと英国の首相デービッド・ロイド・ジョージは国際連盟を提唱しました。このことに率先した人物に注目するのは興味深いことです。それら二人の指導者は、聖書の歴史に登場する7番目の世界強国、つまり英語を話す二つの国から成る英米世界強国の最高責任者でした。」

・・・ということです。 いいですか これで。

S はい、ありがとうございます。 あの、ついでに、さっきの荒廃をもたらすものが、国連だと言うのも、資料から探してもらっていいですか。

B 分かりました。だったら、こっちの書籍の方が早いでしょう・・・。
「ダニエル書に注意を払いなさい」の書籍の266ページです。読んでみますね。

「第二次世界大戦の終わりが近づいたころ、神のみ使いの予告どおり、もう一つの出来事がありました。「彼らは荒廃をもたらす嫌悪すべきものを必ず据える」のです。・・・それは、第二次世界大戦が勃発した時に、世界平和をもたらす機構としては存在しなくなり、底

知れぬ深みに入れられた緋色の野獣、つまり国際連盟でした。・・・このようにして、み使いの予告した「嫌悪すべきもの」一国際連合が据えられました。」
ネ、間違いないでしょ。

S そうですね。出版物から確認できたの、これではっきり分かりました。
あと、それに関係あると思うんですが、「北の王と南の王」の話しも、どっちがどっちだか、こんがらがってしまって、よく分からなくなっちゃうんですが、確か、英米が南の王でしたっけ。

B そうですよ。姉妹、しっかりして下さいよ（笑）。
それも、出版物にちゃんとそう書いてあるのを、今探して、見せてあげますから・・・
えーと あっこれこれ。ものみの塔76年 5月1日 287ページ・・・

「南の王」について考えると、20世紀の初頭、エジプトで権威を振るっていたのはどの強国ですか。エジプトに関するどんな参考文献を調べても、それは英国であることが示されています。・・・アメリカ合衆国と英国の密接な関係を考えると、英米世界強国が「南の王」の立場を占めたことは明らかです。」

何も曖昧なところはないです。英米が終わりの時代の「南の王」です。この機会に、しっかり頭にたたき込んで下さいね。

S おかげさまで ありがとうございます。これで全部、何となくもやもやしてたのがはっきりしました。
「荒廃をもたらす嫌悪すべき者」が国際連合、そしてその国連を提唱して設立したのが、「南の王」である英米世界強国、これで間違い無いですよ。

B 姉妹、よくできました。(笑) それで間違いありません。

S そうですか。でもわたし、実は「荒廃をもたらす嫌悪すべき者」は「北の王」が据えると書いてあるのを見ちゃったんです。あれってもしかして背教者の文書だったのかしら。

B ええっ！ 何ですかそれ、まったく正反対じゃないですか。もしかしてじゃなくて、間違い無く背教者の文書ですよ、そんなの！

S やっぱりそうですか。でも、そう書いてあったの、聖書のダニエル書11章31節なんですけど、神の言葉なのに背教者の文書になっちゃうなんて、なんかスゴイですね。

B

S あっ それと、もう一つどうしてなのかなって思ったことがあるんですけど、イギリスは、イスラエルから見て北にあるし、昔、「北の王」のローマの一部だったのに、いつから「南の王」に寝返ったんでしょうね。

B

S あら 兄弟、なんか怖い顔なさって、どうかされました？

B 姉妹、・・・ 姉妹は背教者の疑いがあります。聴聞会を設けますので、改めて後日連絡します。